漢方一口メモ　その10「ツボ注射のおすすめ」

経絡にはツボ（経穴）がある。ツボを押せば、いのちの泉が湧き出して来ると言われるように、ツボを用いた治療には指圧だけでなく、ハリや灸を用いることが知られている。

ツボは全身にある。365あるとも、それ以上新しく発見された特効穴も多い。私（院長）は、漢方を学ぶ一方で気功・太極拳を習い、気（生命エネルギー）の流れを実感するようになり、亡父（精一）がはじめていたビトキシン（ミツバチの毒から出来た注射液：蜂の毒は民間療法で疼痛によく効くと知られている）による注射をツボを活用したら「もっと的確によく効くはず」と直感してツボ注射（のち中国の成書に穴位注射という手法もあると知る）をはじめるようになった（ビトキシンはその後、製薬メーカーの都合で製造中止になったため、私は色々ツボ刺激に良い注射液を求め現在の注射液2種、用いるようになった）。

各種疼痛性疾患に用いており、評判よく、なかなか良くならない方が口コミで来られている方、過去こちらですぐ良くなった事を思い出して来られる方も多いです。悩んでおられる方は、気軽にお申し出下さい。また友達をご紹介下さい。

「ギックリ腰（はづって来られた方が一発で改善し帰る時アラッふしぎ歩いてる）」「五十肩（手が上がらない）」「首や肩凝り」「坐骨神経痛や脊柱管狭窄症」「肋間神経痛（帯状の神経痛）」「背の痛み、腰痛、膝の痛み」「圧迫骨折」等々。

（付）経絡とその作用について（よく用いる経絡につき紹介）

肺経。咳嗽、喘息急短、烦躁、胸満、肩と背中の痛み、小便が近いなど

大腸経。下痢、腹鳴、異臭、便づまり、歯痛、肩の前面や上腕外側の痛み、頸部のはれなど

胃経。胃腸炎、顔面（鼻、のど、口腔内）、乳房部、下腹前面、足背部の痛み、精神異常、乳

脾経。胃痛、吐、下痢、腹脹、舌痛、身体の重だるさ、むくみ

心経。心痛、胸痛、肩から腕にかけての内側の痛み　㊟井穴で心停止の回復ができる。

膀胱経。頭痛、てんかん、うなじの強ばり、腰と背の痛み、痔、小便が近い、排尿のいたみと不利

腎経。のど痛、お腹すいても食べたがらない、つかれやすい、胸ごるしさ、喘息、動悸、胸痛、烦躁、下痢、ものがはっきりみえない、元気でなくなる、内股のいたみ

心包経。胸ごるしい、心痛、動悸、精神不安、腋下の痛み、㊟ストレスの胃痛、過度に内向的、

三焦経。耳痛、のど、眼の病い、怒りの怒れ、うでの外側から肩、肩甲部の痛み、五十肩

胆経。頭痛、口苦、鎖骨が腋下のリンパ腫脹、脇、側胸いたくて吸かえりづらい、下肢外側や股内踵のいたみ（側頭、耳、顎、肩、胸腹の側部、下肢の外側を通っている）

肝経。胸満、イライラ、腰痛、膝痛、遺尿、尿不利、陰部疼痛　胸脇部のいたみ、めのいたみ

※腰骨（腰仙椎、仙腸関節、骨盤）が人体をまっすぐに支えている枢軸である。腰がしっかりしていないと首、肩がしっかりまっすぐ保てないので肩こり・腰痛となってしまう。